

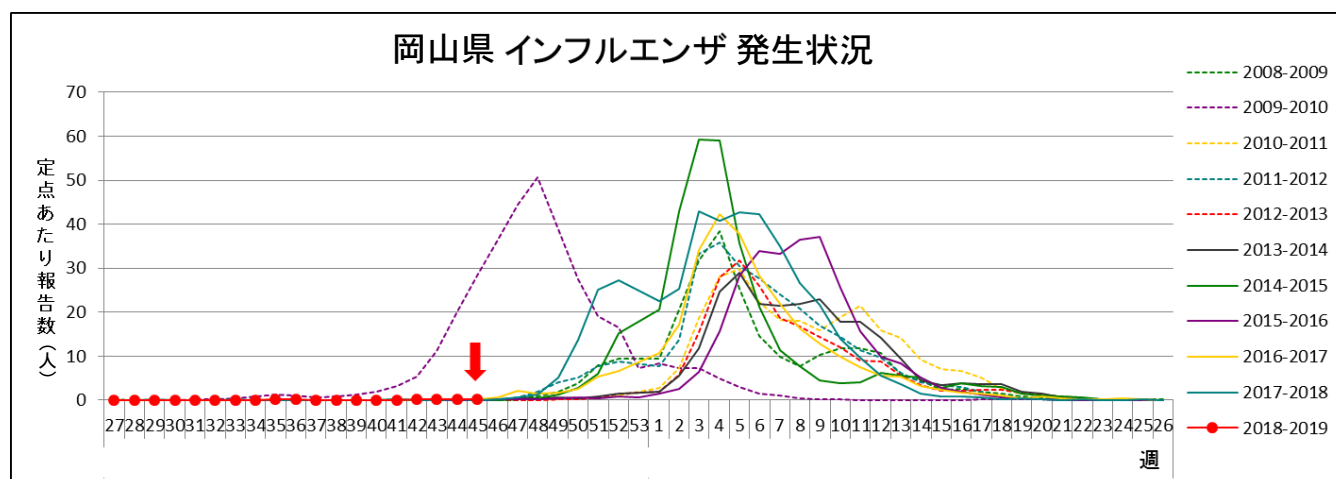
インフルエンザ週報 2018年 第45週 (11月5日～11月11日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で25名（定点あたり0.30人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第46週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。（11月12日～13日）



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、倉敷市で16名、岡山市で8名などの報告があり、県全体では25名（定点あたり報告数0.30人）の発生となっています。今シーズン（2018/9/3～）は、第36週（9/3～9/9）から散発的に患者が報告されており、第39週（9/24～9/30）、第40週（10/1～10/7）および第42週（10/15～10/21）にそれぞれ入院患者1名の報告がありました。患者の発生は少数にとどまっています。

全国の第44週（10/29～11/4）の発生状況は、定点あたり報告数が0.21人であり、今シーズンに入ってから徐々に増加しています。都道府県別では、沖縄県（1.24人）、三重県（1.11人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、流行開始の目安（定点あたり1.0人）を超える都道府県は、2県となっています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、岡山県では第39週に学校等の臨時休業が報告されており、全国でも、すでに第36週からインフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が報告されています。帰宅後は手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

[IDWR 速報データ 2018 年第44週（国立感染症研究所）](#)

[インフルエンザ Q&A（厚生労働省）](#)

[インフルエンザ 関連情報 2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株（国立感染症研究所）](#)

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	25	▲	備 中	患者数	1	▲
	定点あたり	0.30			定点あたり	0.08	
岡山市	患者数	8	▲	備 北	患者数	0	▼
	定点あたり	0.36			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	16	▲	真 庭	患者数	0	▼
	定点あたり	1.00			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	0	▲	美 作	患者数	0	▼
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.00	

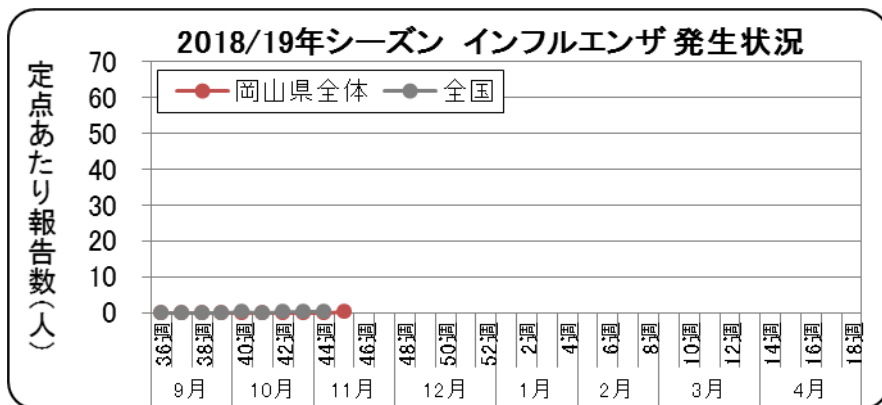
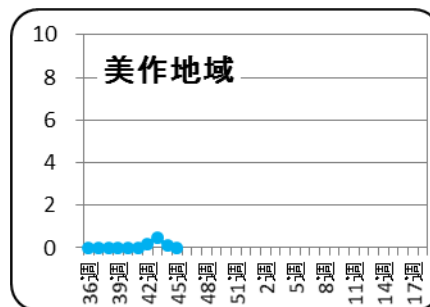
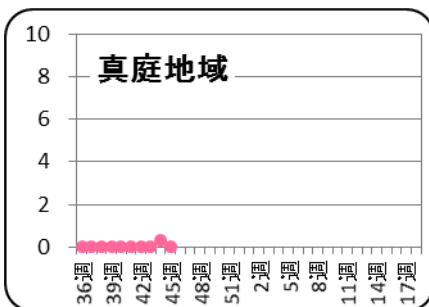
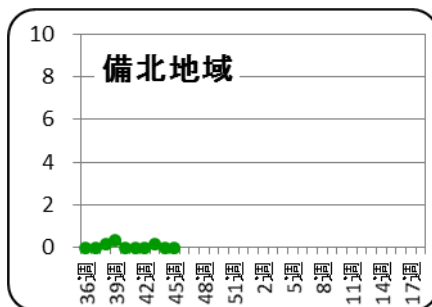
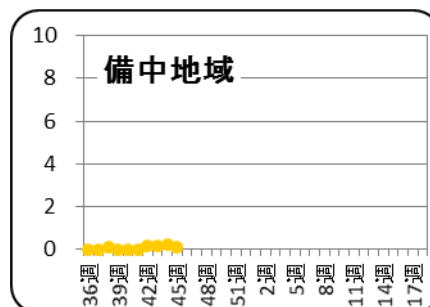
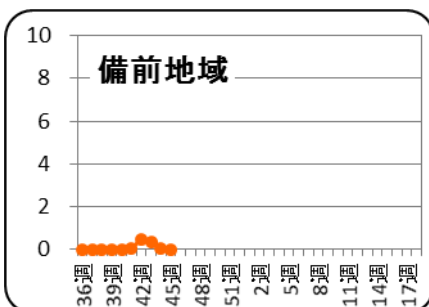
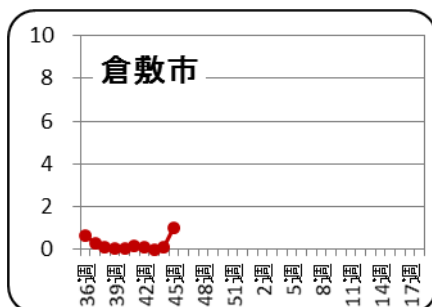
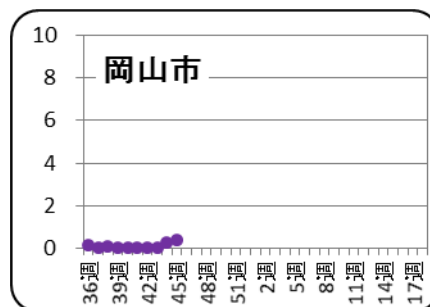
【記号の説明】 前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ➡：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ▼：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



＜インフルエンザ発生レベル 基準＞

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

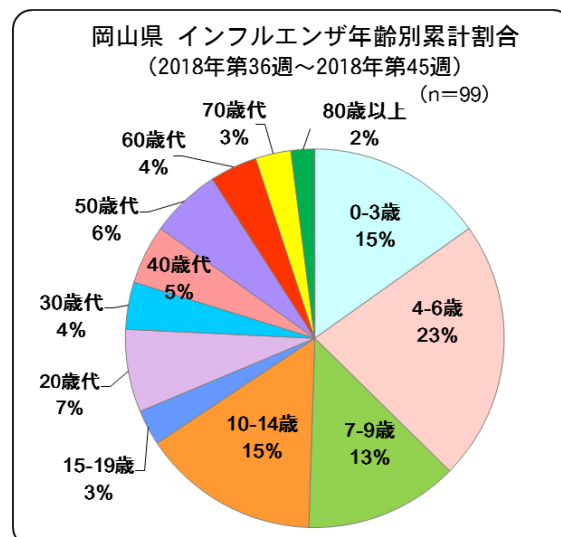


全国集計第44週（10/29～11/4）速報値によると、全国の定点あたり報告数は0.21人となり、前週（0.19人）とほぼ同じでした。都道府県別では、沖縄県（1.24人）、三重県（1.11人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

[インフルエンザの発生状況について](#)
（厚生労働省）

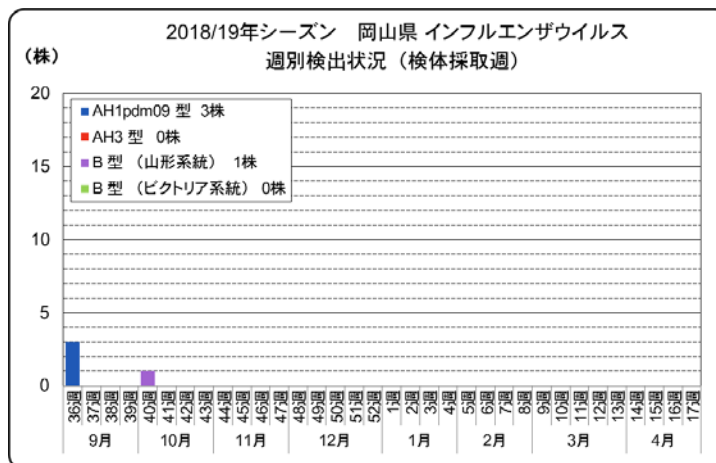
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別類型割合は、4-6 歳 23%、0-3 歳および 10-14 歳 15% の順で高くなっています。

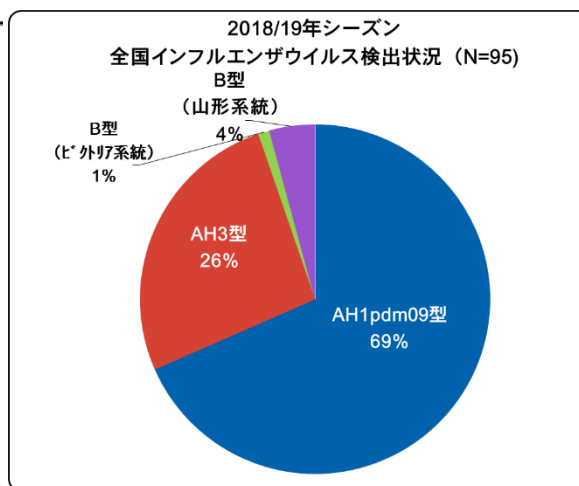
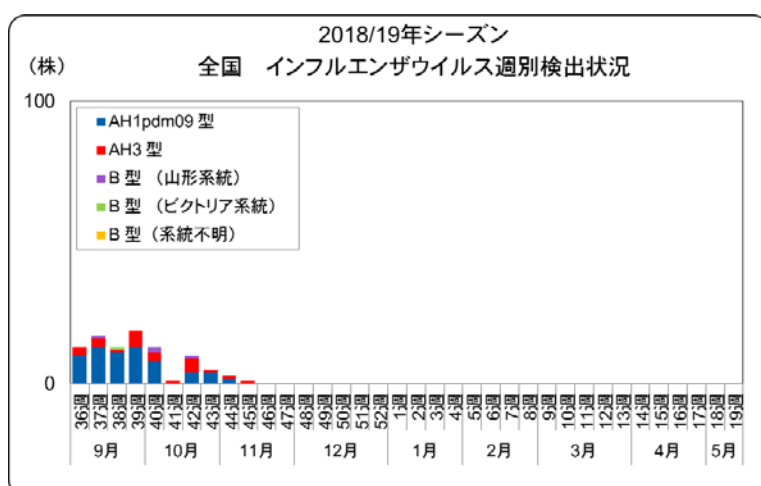


3. インフルエンザウイルス検出状況

第 45 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 4 株で、その内訳は、AH1pdm09 型 3 株、B 型（山形系統）1 株となっています。



今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型が 25 株、AH1pdm09 型が 65 株、B 型が 5 株〔山形系統 4 株・ビクトリア系統 1 株〕となっています（11 月 9 日現在）。



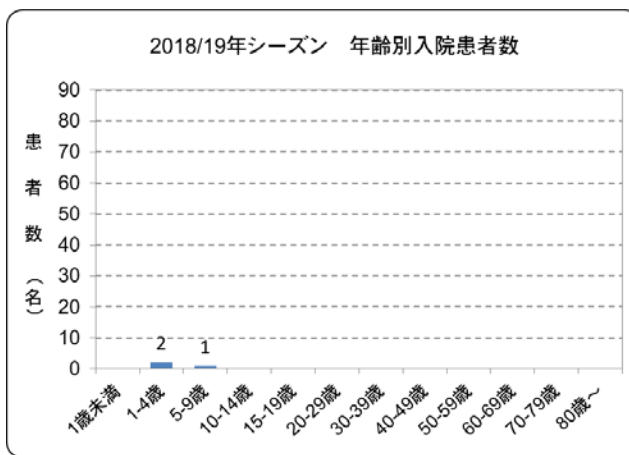
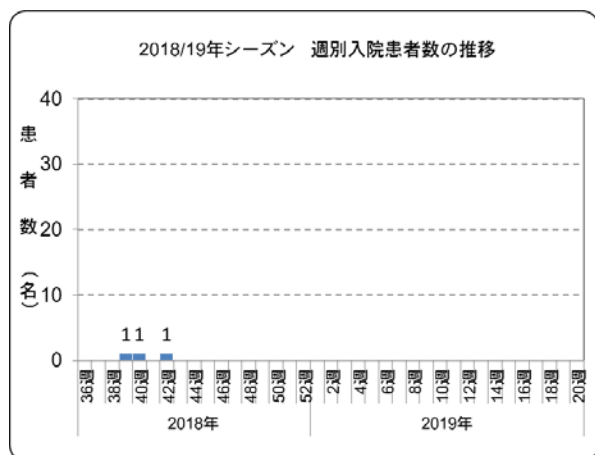
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



【2018年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数		2	1										3
ICU入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず		2	1										3

* 重複あり

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が現れるまで、2週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる 12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。
定期予防接種の対象者は、積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方も、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。
- ・ 13歳以上の方は、1回接種を原則としています。

定期予防接種対象者

- * 65歳以上の方
- * 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能に障がいがあり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。
◎定期予防接種については、接種できる期間が市町村によって異なりますので、お住まいの市町村担当課にお問い合わせください。



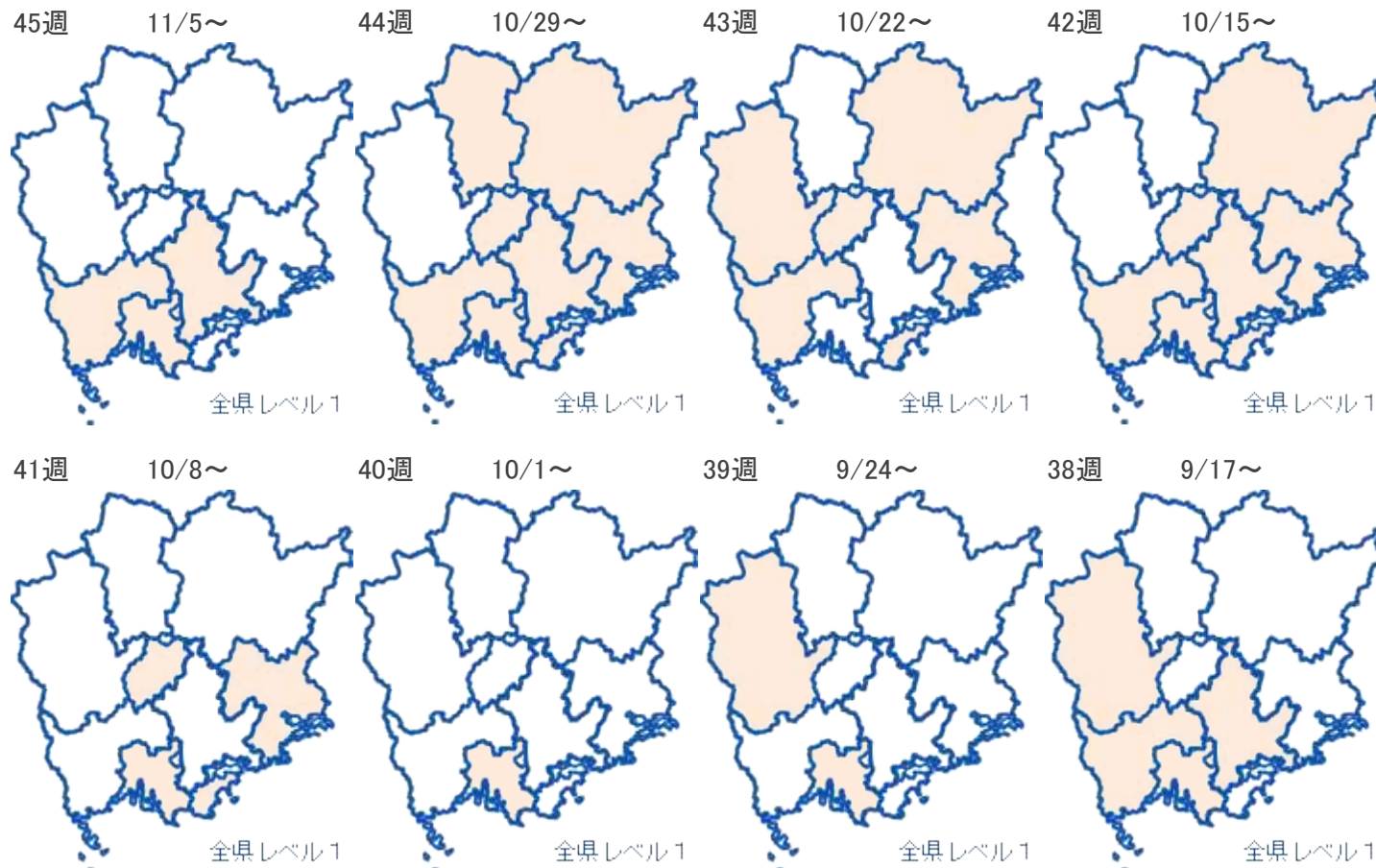
岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2018年 45週

2018年11月14日

10:22:00



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。